産婦人科（必修）

（期間）

2年次必修にて1か月（4週）

（一般目標）

プライマリケアに必要な、女性特有の疾患、ホルモン変化、妊娠分娩に関する研修を行う。これにより、女性患者を全人的に理解し、女性のQOL向上を目指したヘルスケアを行えることを目標とする。

（行動目標）

1.　女性特有の疾患による救急医療

産婦人科急性腹症の診断（子宮外妊娠、卵巣嚢腫茎捻転、卵巣出血）

2.　妊娠の診断、妊婦の管理、投薬、正常分娩の経過

妊娠分娩と産褥期の管理の基礎知識と育児に必要な母性とその育成

妊産褥婦に対する投薬や検査に対する制限などの特殊性

3.　思春期、成熟期、更年期の特徴

これらのホルモン環境の変化とその失調に起因する疾患

4.　婦人科腫瘍、性感染症の診断と治療

5.　以上の項目を理解するための、医療面接、基本的診察法、検査法

6.　1）他院・他科への依頼の仕方

2）他院・他科からの依頼への応対

3）各種診断書などの書き方

これらの研修を通じて女性の特有な疾患を理解し、その特性を会得することはすべての医師にとって必要不可欠なものである。

（評価方法）

- 指導医による各到達度目標に対する評価
- 研修医本人による各到達度目標に対する評価

（週間スケジュール）分娩見学・介助は昼夜を問わず、最低一回は経験する。

	午　前	午　後
月	病棟	外来
火	手術見学・助手	手術見学・助手
水	病棟	外来
木	手術見学・助手	手術見学・助手
金	病棟	外来